

都市再生整備計画 事後評価シート
岐南町中心市街地地区

令和4年3月

岐阜県羽島郡岐南町

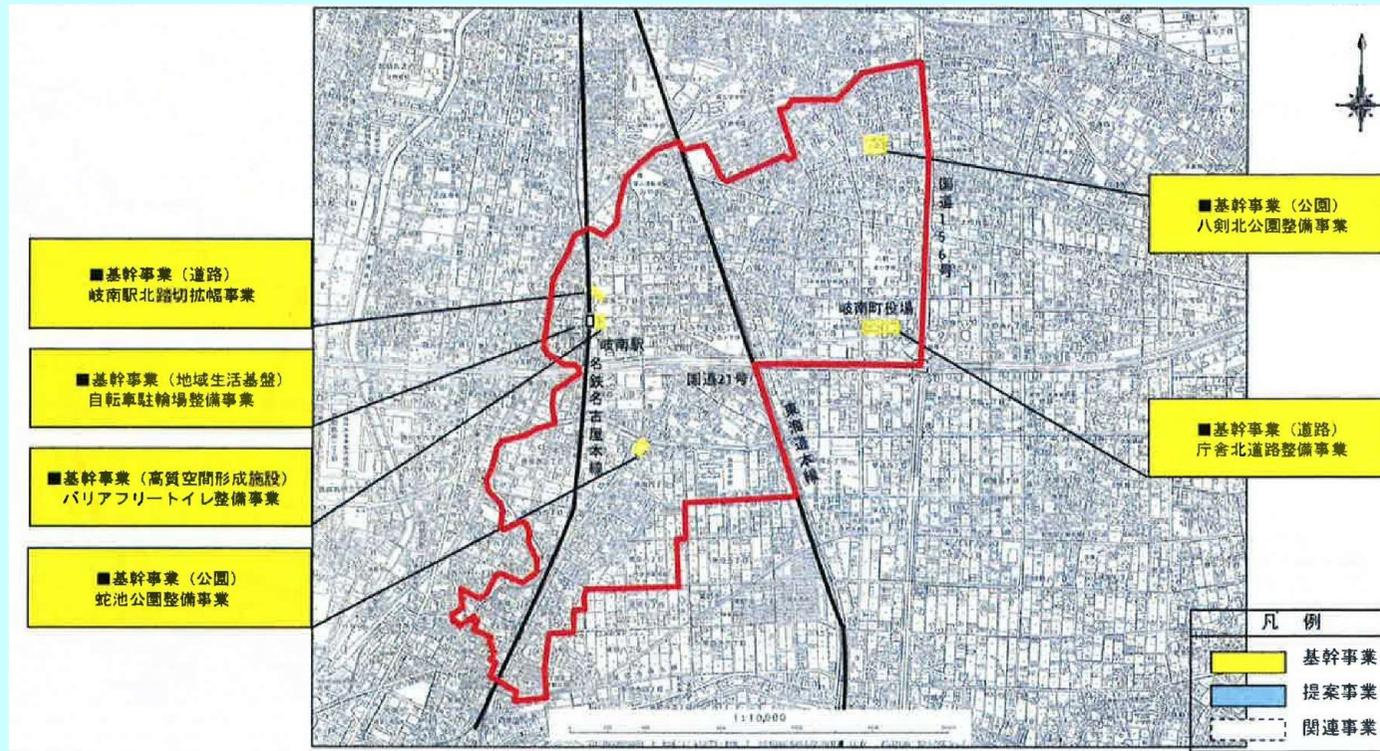
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	岐南町		地区名	中心市街地地区		面積	262ha			
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和4年3月		交付対象事業費	373百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(岐南駅北踏切拡幅事業、庁舎北道路整備事業)、公園(八剣北公園整備事業、蛇池公園整備事業)、高質空間形成施設((仮称)石原瀬せせらぎ整備事業、バリアフリートイレ整備事業)、地域生活基盤施設(自転車駐輪場整備事業、防災備蓄倉庫整備事業)									
			提案事業	事業活用調査(事業分析調査)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			道路((仮称)石原瀬せせらぎ整備事業)	高質空間形成施設(仮称石原瀬せせらぎ整備)に際して、関係機関(岐阜県、岐阜市)との調整に時間を要し、事業期間内に完了することができなくなったため事業を取りやめる。			なし						
			地域生活基盤施設(防災備蓄倉庫整備事業)	地域生活基盤施設(地域防災施設)に際して、計画当初は、庁舎北側に防災備蓄倉庫を設置し、そこに災害時の救援物資の備蓄をする予定でしたが、整備計画期間内に新調理センターを建築し、その施設の中で災害時の救援物資の備蓄が可能になったため、事業をとりやめる。			なし						
	新たに追加した事業		提案事業	事業活用調査(事業分析調査)	事業活用調査(事業分析調査)に際して、目標指標の岐南駅北踏切拡幅事業が遅れており、計画最終年度に実施しても評価が期待できないことが考えられ、翌年度に町単独費を用いて実施することになったため、事業をとりやめる。			なし					
			基幹事業	-	-			-					
	交付期間の変更		当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
			変更	-	-			-					
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
指標1		踏切の自動車通過台数	台/時	4.9	H27	550	R2	-	551	○	あり なし	岐南駅北踏切拡幅を進めたことにより、車両や歩行者の流れがスムーズになり、渋滞緩和と歩行者の安心安全の確保につながった。通過交通量の目標値が550台/時に対して、評価値は551台/時と目標値を上回った。	-
指標2		岐南駅周辺の満足度	ポイント	2.82	H26	3.06	R2	-	3.09	○	あり なし	岐南駅周辺施設等の整備を進めたことにより、岐南駅周辺施設等の利便性が向上し住民の満足度が上昇した。満足度の目標値が3.06ポイントに対して、評価値は3.09ポイントと目標値を上回った。	-
指標3		公園の満足度	ポイント	2.90	H26	3.07	R2	-	3.19	○	あり なし	公園の整備を進めたことにより、公園の利便性が向上し住民の満足度が上昇した。満足度の目標値が3.07ポイントに対して、評価値は3.19ポイントと目標値を上回った。	-
指標4	備蓄食料の対応日数	日	1.5	H27	2.0	R2	-	2.0	○	あり なし	大容量の備蓄食料を保存できる場所を確保することで、備蓄食料の対応日数が増加した。対応日数の目標値が2.0日に対して、評価値は2.0日と目標値を達成することができた。	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4) 定性的な効果発現状況	-												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング		-		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		-				
	住民参加プロセス		・岐南駅周辺満足度アンケート(令和3年12月～令和4年1月) ・公園満足度アンケート(令和3年12月～令和4年1月)		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● アンケートの結果をもとに今後の駅周辺や公園等の整備方針を検討し、利便性や安全性を図る。				
持続的なまちづくり体制の構築		-		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		-					

様式2-2 地区の概要

岐南町中心市街地地区 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「安心・安全」な地域とコミュニティの形成に向けて	踏切の自動車通過台数	台/時	500	H27	550	R2	551	R2
	岐南駅周辺の満足度	ポイント	2.82	H26	3.06	R2	3.09	R2
	公園の満足度	ポイント	2.90	H26	3.07	R2	3.19	R2
	備蓄職長の対応日数	日	1.5	H27	2.0	R2	2.0	R2



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・岐南駅北側の踏切拡幅、歩道の整備を行ったことで、渋滞緩和と歩行者の安全安心を確保することができた。今後、整備が必要とされる箇所について検討を行い、安心安全の確保を図る。 ・公園の整備を行ったことで公園の満足度は上昇し、利用人数を増加させ、災害時の地域コミュニティを向上させることができた。今後は、公園の満足度の上昇と、岐南町内に存在する他の公園の整備・改善について検討を行い、地域コミュニティの向上を図る。 ・岐南駅前広場に利用者が安心安全に利用できる駐輪場を整備することができた。今後は、駐輪場に関する整備・改善について検討を行い、安全性の更なる向上を図る。 ・岐南駅前や公園といった避難所施設等のバリアフリー化を行ったことで、高齢化や災害に備えることができた。今後は、事業実施エリアに限らず、岐南町全域の避難所施設等のバリアフリー化について検討し、安心安全の確保を図る。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業で整備を行った実施エリアに留まらず、岐南町全域での整備・改善が求められている。今後、必要箇所の整備・改善に関する検討を行い、更なる利便性の向上や安心安全確保を図る。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	岐南駅北踏切拡幅事業	148.0	L=104.4m	232.5	L=104.4m	事業費の増加	道路(岐南駅北踏切拡幅事業)に際して、名古屋鉄道側に施工協議をしたところ、踏切内の電線が支障となった。再積算の結果、計画していた事業費148百万円が231百万円に増加した。なお、指標への影響は、工法変更のみであることから、生じない。	●	
道路	庁舎北道路整備事業	28.6	L=141.7m	22.2	L=141.7m	事業費の減少	道路(庁舎北道路整備事業)に際して、庁舎周辺の案全対策を再検討したところ、ガードパイプの施工から、視線誘導の設置に変更した。そのため、計画していた事業費28.6百万円が22.2百万円に減額した。なお、指標への影響は、工法変更のみであることから、生じない。	●	
公園	八剣北公園整備事業	72.0	A=5,709m ²	80.0	A=5,709m ²	事業費の増加	公園(八剣北公園整備事業)に際して、掘削したところ大量のコンクリート構造物が埋設されていた。撤去が必要となり、計画していた事業費72.0百万円が82.4百万円に増加した。なお、指標への影響は、工法変更のみであることから、生じない。	●	
公園	蛇池公園整備事業	65.0	A=2,100m ²	18.8	A=2,100m ²	事業費の減少	公園(蛇池公園)に際して、計画当初は、遊具の整備を予定していたが、年間点検で遊具に異常はなく、利用できることが判明したため、遊具の設置を見送った。それにより、全体事業費65百万円が19百万円に減少した。なお、指標への影響は工法変更のみであることから、生じない。	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	自転車駐輪場整備事業	40.0	A=108m ²	8.9	A=108m ²	事業費の減少	地域生活基盤施設(自転車駐輪場)に際して、整備方法の再検討をしたところ、現地状況に応じて、施工範囲を絞ることにした。そのため、計画していた事業費40.0百万円が10.3百万円に減少した。なお、指標への影響は、工法変更のみであることから、生じない。	●	
地域生活基盤施設	防災備蓄倉庫整備事業	14.9	A=178.75m ²	—	—	事業の削除	地域生活基盤施設(地域防災施設)に際して、計画当初は、庁舎北側に防災備蓄倉庫を設置し、そこに災害時の救援物資の備蓄をする予定だったが、整備計画期間内に新調理センターを建築し、その施設の中で災害時の救援物資の備蓄が可能になったため、事業をとりやめる。全体事業費15百万円。なお、指標への影響は代替施設で対応できるため、生じない。		
高質空間形成施設	(仮称)石原瀬せせらぎ整備事業	181.0	A=4,933m ²	—	—	事業の削除	高質空間形成施設(仮称石原瀬せせらぎ整備)に際して、関係機関(岐阜県、岐阜市)との調整に時間を要し、事業期間内に完了することにできなくなったため事業を取りやめる。交付対象事業費181百万円。		
高質空間形成施設	バリアフリートイレ整備事業	7.7	1箇所	10.1	1箇所	事業費の増加	高質空間形成施設(バリアフリートイレ整備事業)に際して、地元より要望があり、バリアフリートイレに進入できるように舗装面積を増やした。そのため、計画していた事業費7.7百万円が10.1百万円に増加した。なお、指標への影響は、工法変更のみであることから、生じない。	●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		目標年度		モニタリング	事後評価	達成率	達成度	あり	なし		
指標1	踏切の自動車通過台数	台/時			490	H27	550	R2	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 ●	551	事後評価	○			
指標2	岐南駅周辺の満足度	ポイント			2.82	H26	3.06	R2	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 ●	3.09	事後評価	○			
指標3	公園の満足度	ポイント			2.90	H26	3.19	R2	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 ●	3.19	事後評価	○			
指標4	備蓄食料の対応日数	日			1.5	H27	2.0	R2	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 ●	2.0	事後評価	○			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	岐南駅北踏切拡幅を進めたことにより、車両や歩行者の流れがスムーズになり、渋滞緩和と歩行者の安心安全の確保につながったことで目標達成に至った。	
指標2	岐南駅周辺施設等の整備を進めたことにより、岐南駅周辺施設等の利便性が向上し住民の満足度が上昇したことで目標達成に至った。	
指標3	公園の整備を進めたことにより、公園の利便性が向上し住民の満足度が上昇したことで目標達成に至った。	
指標4	岐南町備蓄計画で定められた、被災対象者全員の2.0日分の食料が保存できる施設が整備されたため、目標達成に至った。	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタ リング		
							確定 見込み		
その他の 数値指標2							モニタ リング		
							確定 見込み		
その他の 数値指標3							モニタ リング		
							事後評価 見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
・岐南駅周辺満足度アンケート ・公園満足度アンケート	予定どおり実施した	【岐南駅周辺満足度アンケート】 ・実施回数:1回 ・実施時期:令和3年12月 ・実施結果:回収率約50%、うち満足・大変満足と回答した方は20%を超え、不満・大変不満と回答した方は約11%となった。 【公園満足度アンケート】 ・実施回数:1回 ・実施時期:令和3年12月 ・実施結果:回収率約50%、うち満足・大変満足と回答した方は30%近くとなり、不満・大変不満と回答した方は約10%となった。	-
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
岐南町都市再生整備計画検討会議	土木部土木課	令和4年1月	土木部土木課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3	指標4				
指標名		踏切の自動車通過台数	岐南駅周辺の満足度	公園の満足度	備蓄食料の対応日数				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見				
基幹事業	道路(岐南駅北踏切拡幅事業)	◎	岐南駅北踏切拡幅を進めたことにより、車両や歩行者の流れがスムーズになり、渋滞緩和と歩行者の安心安全の確保につながった。通過交通量の目標値が550台/時に対して、評価値は551台/時と目標値を上回った。	—	岐南駅周辺施設等の整備を進めたことにより、岐南駅周辺施設等の利便性が向上し住民の満足度が上昇した。満足度の目標値が3.06ポイントに対して、評価値は3.09ポイントと目標値を上回った。	—	公園の整備を進めたことにより、公園の利便性が向上し住民の満足度が上昇した。満足度の目標値が3.07ポイントに対して、評価値は3.19ポイントと目標値を上回った。	○	大容量の備蓄食料を保存できる場所を確保することで、備蓄食料の対応日数が増加した。対応日数の目標値が2.0日に対して、評価値は2.0日と目標値を達成することができた。
	道路(庁舎北道路整備事業)	—		—		—			
	公園(八剣北公園整備事業)	—		—		◎		—	
	公園(蛇池公園整備事業)	—		—		◎		—	
	地域生活基盤施設(自転車駐輪場整備事業)	—		◎		—		—	
	高質空間形成施設(バリアフリートイレ整備事業)	—		◎		—		—	
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標1	指標2	指標3	指標4
	利用者の安心、安全の確保のため、整備実施エリアに留まらず、危険箇所等の選定を行い、整備・改善の検討を行い、今後の方針を策定する。	整備を行った駐輪場や公衆トイレ以外の施設についても、高齢者や子供など利用者のニーズに応じた整備を検討し、利用者の満足度の上昇、安心安全の確保につなげる。	公園の満足度の更なる向上と、岐南町内に存在する他の公園の整備・改善について検討を行う。	町内全体の災害時に対する備えを強化するため、他のエリアの整備・改善に関する検討を行い、今後の方針を策定する。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
岐南町都市再生整備計画検討会議	土木部土木課	令和4年2月	土木部土木課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
岐南駅北側の踏切拡幅、歩道の整備による渋滞緩和、歩行者の安全確保。	岐南駅北側の踏切拡幅、歩道の整備を行ったことで、渋滞緩和と歩行者の安全安心を確保することができた。	—	これらの課題については良い成果を上げることができたが、事業実施エリアに留まらず、岐南町全域での整備・改善が求められている。更なる利便性の向上や安心安全の確保のために、整備・改善に関する検討を行い、今後の方針を策定する。
避難場所となる都市公園の利用者を増やし、災害時の地域コミュニティの向上。	整備を実施したことで公園の満足度は上昇し、利用者を増加させ、災害時の地域コミュニティを向上させることができた。	公園の満足度の更なる向上と、岐南町内に存在する他の公園の整備・改善について検討を行う。	
高齢化や災害に備え、避難所施設等のバリアフリー化。	岐南駅前や公園といった避難所施設等のバリアフリー化を行った。	整備実施エリアに限らず、岐南町全域の避難所施設等のバリアフリー化について検討を行う。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	駅周辺施設・公園の維持管理	以前よりも上昇した岐南駅周辺、公園の満足度の維持のため、整備改善や定期的な点検等を行う。	・駅周辺施設、公園改修事業、整備事業

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	岐南駅周辺・公園の満足度の向上	岐南駅周辺、公園の満足、不満足の原因について分析し、利用者にとって利用しやすく、安心、安全の確保につながる整備・改善を行う。	・岐南駅周辺施設整備事業 ・公園整備事業
	災害に対する備え	避難施設の利便性の向上、避難者の全員分の食料の確保等、災害に対する備えの強化を継続して行っていく。	・避難所整備事業 ・備蓄倉庫整備事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
✓	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	踏切の自動車通過台数	台/時	490	H27	550	R2	確定 ●	551	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標2	岐南駅周辺の満足度	ポイント	2.82	H26	3.06	R2	確定 ●	3.09	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標3	公園の満足度	ポイント	2.90	H26	3.07	R2	確定 ●	3.09	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標4	備蓄食料の対応日数	日	1.5	H27	2.0	R2	確定 ●	2.0	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標5							確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標1							確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標2							確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標3							確定			あり	→		
							見込み			なし			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	本区域の課題及び目標に即した数値指標を設定することはでき、成果を達成することができた	地区の特性および事業等に適した指標を設定する。達成できなかった指標に関しては、それらが改善できるよう整備内容を見直し、次期計画について検討を行う。
	うまくいかなかった点	-	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	岐南駅北踏切拡幅、歩道整備、公園や岐南駅前広場等の整備を行ったことで、利用者の満足度が上昇し、安心安全を確保することができた。	他の施設についても、高齢者や子供など利用者のニーズに応じた整備を検討し、利用者の満足度の上昇、利用者の増加、安心安全の確保につなげる。
	うまくいかなかった点	-	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	岐南町全域における公園や駅前広場等に関するアンケート調査を実施することで、住民の満足度の推移を確認することができた。	公園や駅前広場の満足度が上昇した事例をもとに、岐南町内の住民満足度が低い公園等について整備の検討を行う。
	うまくいかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事業期間中に変更した内容についても完了することができ、指標の達成につながった。	定期的な見直しを図ることで、問題点の早期発見につながり、コストや工期などの削減に期待できる。
	うまくいかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	ホームページ	令和4年3月18日から 令和4年3月29日まで	令和4年3月18日から 令和4年3月29日まで	<ul style="list-style-type: none"> ・持参 ・郵送 ・FAX ・Eメール 	土木部土木課
広報掲載・回覧・個別配布	-	-			
説明会・ワークショップ	-	-			
その他	-	-			

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
-------	---	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	-	令和4年3月	土木部土木課	岐南町都市再生整備計画事後評価委員会要綱	岐南町
その他の委員	<ul style="list-style-type: none"> ・土木部長 安田 悟 ・土木課長 板橋篤志 ・財政課長 服部貴司 ・総合政策部長 三輪 学 ・総合政策課主幹 堀部 達也 				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って、事後評価が適正に行われたことが確認された。
	成果の評価	全ての指標について目標値を達成することができた。
	実施過程の評価	予定にはなかったが岐南駅と公園の満足度について住民アンケートを行い、住民参加プロセスの実施を行った。
	効果発現要因の整理	全ての基幹事業について、指標改善の貢献していることが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	インターネットにより適切に公表されたことが確認された。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続き及び内容について、妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	指標については全て目標値を達成することができたが、今後のまちづくりでは、本事業で整備を行った実施エリアに留まらず、岐南町全域での整備・改善が求められているため、今後、必要箇所の整備・改善に関する検討を行い、更なる利便性の向上や安心安全確保を図る。
	フォローアップ	特になし
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策について、妥当であることが認められた。
その他	特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。